



2022年11月30日

各 位

会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 樽見 茂
(コード番号 2926 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼 I R 室長 矢立 実
電話番号 048-970-4949

上場維持基準の適合に向けた計画

当社は2022年9月30日時点で東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準を充たしておらず、下記のとおり上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社は2022年9月30日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。株主数、流通株式数、流通株式比率については適合しておりますが、流通株式時価総額については適合していません。

2024年9月末までに上場維持基準に適合するために、次のとおり取組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価 総額	流通株式比率
当社の状況（基準日時点）	6,596人	93,307単位	8.93億円	64.6%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画に記載の項目			○	

*当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針

当社はスタンダード市場基準に適合するため、流通株式時価総額 10 億円を目指しております。

そのために当社に関わるステークホルダーのみなさまからの信頼獲得や各事業セグメントの成長戦略などを着実に進め、企業価値を向上することで時価総額の向上を図ってまいります。また、企業認知度の向上や積極的な I R 活動の推進、コーポレートガバナンスの一層の充実を図り対応いたします。

3. 課題及び取組み内容

当社は流通株式時価総額が基準に達しておらず、この主たる要因は業績低迷に伴う株価下落によるものと考えております。2022 年 9 月期では営業利益が前事業年度比で大きく減少し、想定以上の利益を確保することができませんでした。そのために、当社は流通株式時価総額の基準適合に向けた株価向上のため、業績回復を最重要課題とし取り組んでまいります。

① 業績回復

2022 年 9 月期は仕入価格の上昇分を販売価格へ転嫁する時期を慎重に検討し、当社コンセプトの「よりいいものをより安く」のもと顧客数の増加による売上高増加を優先してまいりました。しかしながら、顧客数は増加したものの、当初想定した顧客数には至りませんでした。

当社の業績回復には魅力ある商品づくりが不可欠となります。コンセプトである「よりいいものをより安く」とは日常の商品に対する表現で、非日常の商品が安く買えるとの意味ではございません。

顧客単価を上げるために大容量のグラム単価の安いお買い得な商品も多く存在しておりましたが、時代背景もあり少しでも買いやすい商品価格の設定が重要であると考え、商品の開発、規格変更等を急務として行い、現在の方向性で問題は無いのか、まずは 2023 年 9 月期第 2 四半期中を目途に、顧客数の前事業年度比 110%を目指してまいります。

また、外部環境の変化等で収益性の低い店舗の閉店による売上高減少に関しましては、集客力の高い商品の開発確認後、利益確保が可能と判断した段階で新規店舗の出店に取り組んでまいります。

② コーポレートガバナンスの強化

持続的な成長と企業価値向上のため、取締役会及び監査役会による内部統制の強化並びにコーポレートガバナンスコードの基本原則に沿って、より多くのステークホルダーのみなさまに当社の取組みをご理解いただけるよう、次回決算説明会より弊社 H P 掲載の決算説明会ビデオ動画制作内容の見直し並びに告知を SNS でも行い、YouTube への配信も行ってまいります。

③ I R活動の強化

当社の強みである「健康」を柱にした事業方針等を説明する機会を増やし、将来的な成長の可能性を評価いただくことで、株価改善に取り組んでまいります。

当社は、以上の取組みを着実かつ継続的に実施し、流通株式時価総額について上場維持基準を充足させるべく努力し、ステークホルダーのみなさまのご期待に応えられるよう尽力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご支援よろしくお願い申し上げます。

以 上